

平成26年度
台東区観光統計・マーケティング調査

報 告 書
-概要版-

平成27年3月
台 東 区

平成 26 年度 台東区観光統計・マーケティング調査

調査の目的と方法

1 調査目的

本調査は、本区への誘客促進及び今後の観光ルート開発等に関する観光都市づくりの施策展開に資することを目的に、観光統計の整備と観光客のマーケティング分析を行い、今後の観光施策における基礎資料とするものです。

2 調査方法

(1)調査フロー

観光客数等の推計においては、「観光入込客統計に関する共通基準」(平成 21 年観光庁策定)を基本として、各種統計資料や今回の調査で集計したデータをもとに、平成 26 年 1 月～同年 12 月の観光客数等の推計を行いました。

また、来訪者へのパラメータ調査（アンケート調査）を実施することで、観光客の意向を把握し、マーケティング分析に必要な基礎データを収集しました。

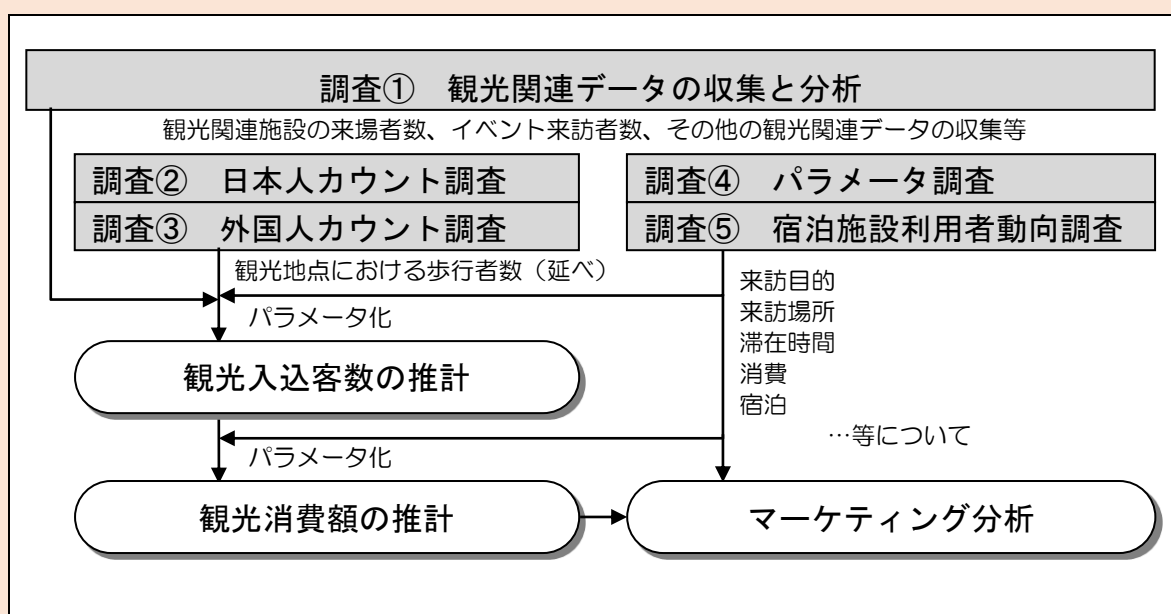


図 1 調査フロー

(2)調査内容

調査① 観光関連データの収集と分析

観光関連施設の来場者数、イベント来訪者数、その他観光関連データを調査し、観光入込客数の推計やマーケティング分析を行いました。

調査② 日本人カウント調査

観光入込客数の推計を行うための基礎データとして、4 地区（上野・浅草・谷中・浅草橋）15 か所での歩行者数を計測しました。

調査日は四半期ごとの平日・休日各 1 日、計 8 日、各地区でイベント等が行われていない日を選択し、平常時の観光入込客数を推計するための歩行者カウント調査を実施しました。

調査③ 外国人カウント調査

外国人観光入込客数の推計を行うため、日本人カウント調査とあわせ、外国人カウント調査を実施しました。

調査④ パラメータ調査（来訪者アンケート調査）

観光入込客数等の推計を行うためのパラメータを構築するため、歩行者カウント調査とあわせてアンケート調査を 4 地区 6 か所で実施しました。アンケート調査では、来訪者に対してアンケート調査票により記入依頼及び聞き取りを行いました。なお、外国人に対しては、英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語の調査票を用いて行いました。また、時間に余裕のない方へは、アンケート調査票と送付用の封筒を配布し、後日郵送による回収を行いました。

結果、日本人 2,204 票、外国人 187 票のサンプルが回収できました。

調査⑤ 宿泊施設利用者動向調査

宿泊施設利用者の実態を把握するため、区内の旅館・ホテルに宿泊者へのアンケート調査票の配布・回収にご協力をいただきました。あわせて、旅館・ホテルに対して宿泊者数等の調査を実施しました。

結果概要

1. 台東区の観光客数

平成26年の台東区の観光客数は、歩行者カウント調査や来訪目的などのパラメータ調査の結果、4,504万人と推計されました。前回（平成24年）と比べ121万人の増加となっており、外国人観光客数は526万人で、前回と比べ100万人の増加となりました。これらの要因として、東京スカイツリー開業による効果のほか、区・都・国による官民一体での観光プロモーションなどの取り組みや、円安基調による経済情勢の変化、ビザ要件の緩和などが考えられます。

表1 台東区の観光客数の推計結果（平成26年1月～12月）

	平成26年
年間観光客数	4,504万人
年間外国人観光客数(内数)	526万人

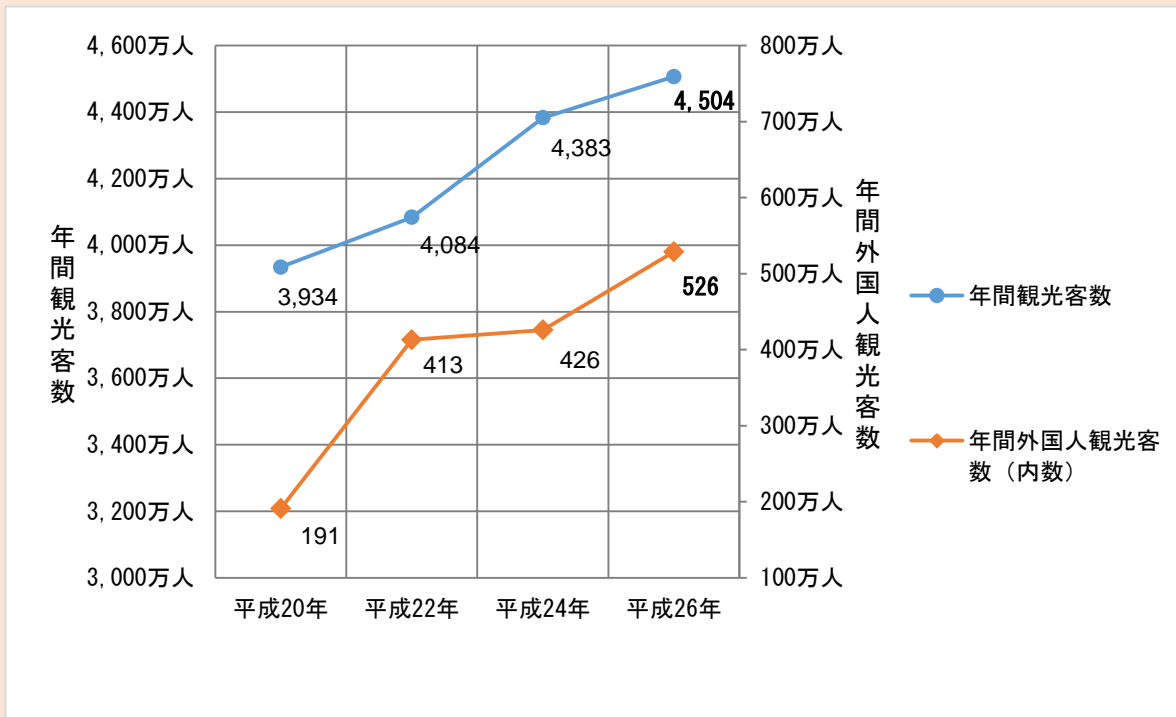


図2 年間観光客数の推移

2. 各地区の観光客数

地区ごとの平常時の観光入込客数、イベント来訪者、宿泊観光客は表2のとおりでした。

平常時の観光入込客数は各地区において、概ね増加傾向にあります。要因として、東京スカイツリーの通年開業の影響、まち歩きや散策を楽しむ来訪者の割合が高くなったことが挙げられます。

また、減少の要因としては、文化・観光施設の来訪者数、イベント来訪者数の変化などが考えられます。

宿泊者へのアンケート結果によると、区内の宿泊施設を選んだ理由として、日本人は、「下町情緒あふれる街」、外国人は、「日本の伝統的な雰囲気」の割合が増えていることから、下町を好んで宿泊する人が多くなったことが宿泊観光客の増加につながっているものと考えられます。

表2 各地区の観光入込客数の推計結果

□上野地区

(単位:万人)

	観光客数(平成 26 年)		観光客数(平成 24 年)	
		地区の計		地区の計
平常時の観光入込客数	2,176	2,592	2,321	2,653
イベント来訪者	250		250	
宿泊観光客	166		82	

□浅草地区

平常時の観光入込客数	1,891	3,050	1,779	2,917
イベント来訪者	921		1,059	
宿泊観光客	238		79	

□谷中地区

平常時の観光入込客数	184	223	142	190
イベント来訪者	39		48	

□浅草橋地区

平常時の観光入込客数	116	150	66	99
イベント来訪者	34		33	

□その他

イベント来訪者	-	53	-	39
---------	---	----	---	----

※各地区の観光入込客数は、複数地区に回遊している人がいるため、合計は「台東区の観光客数」と一致しません。

3. 観光消費額

アンケートによる来訪者の区内消費額と各地区の観光入込客数を推計した結果、前回（平成24年）と比較して、年間観光消費額は317億円の減、1人あたりの観光消費額は887円の減となりました。

1人あたりの観光消費額の推移は、観光庁の旅行・観光消費動向調査の減少傾向と一致し、約13%となっています。背景には消費税率やガソリン価格の上昇などにより、旅行者が費用を節約する傾向があったと考えられます。

消費項目別にみると、買物の消費が減少しましたが、来訪者のアンケート結果では、3,000円未満の買物の割合が増え、高額商品の買物を避ける傾向がみられました。また、宿泊費は施設の稼働率の上昇に伴い増加したものと考えられます。

表3 年間観光消費額の推計結果

	平成26年		平成24年
		前回との差	
飲食	991億円	+86億円	905億円
買物	819億円	-49億円	868億円
入場料等	294億円	-123億円	417億円
その他	141億円	-574億円	715億円
宿泊	407億円	+343億円	64億円
観光消費額 台東区合計	2,652億円	-317億円	2,969億円
台東区観光客数	4,504万人	121万人	4,383万人
1人あたりの消費額	5,888円	-887円	6,775円

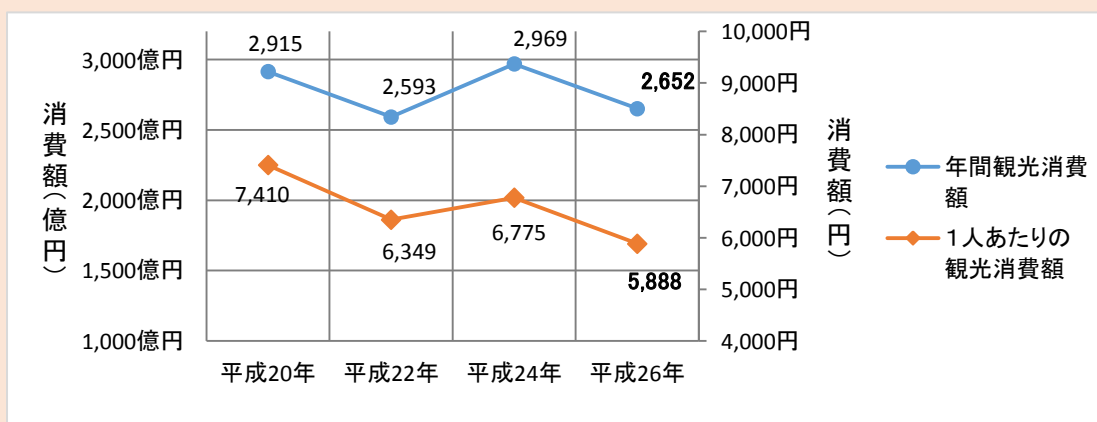


図3 観光消費額の推移

4. 滞在時間

アンケート調査による来訪者の平均滞在時間は区全体で3時間となり、前回（平成24年）の調査と同様の結果でした。また、来訪者の滞在時間3時間以上の割合は52.1%でした。

滞在時間については、散策を楽しむ人の割合や、文化・観光施設への来場者の割合、来訪者の回遊の状況などが影響していると考えられます。

■平均滞在時間

表4 平均滞在時間

	平成26年		平成24年
		前回との差	
上野地区	3時間30分	-25分	3時間55分
浅草地区	3時間00分	+30分	2時間30分
谷中地区	2時間30分	+60分	1時間30分
浅草橋地区	1時間22分	-38分	2時間00分
区全体	3時間00分	0分	3時間00分

■滞在時間3時間以上の割合

表5 滞在時間3時間以上の割合

	平成26年		平成24年
		前回との差	
上野地区	66.9%	-5.4%	72.3%
浅草地区	50.1%	+4.9%	45.2%
上野地区+浅草地区	57.2%	-4.6%	61.8%
区全体	52.1%	-4.6%	56.7%

5. 来訪回数

来訪者へのアンケートで台東区への来訪回数を調査した結果は、表6のとおりです。

「初めて」と答えた人は、前回（平成24年）の調査と比べ2.0%を増えました。これは、観光プロモーションなどの取り組みにより、区内へ初めて来訪する人が増えたものと考えられます。

一方、2回以上のリピーターが占める割合（リピート率）は、前回より2.0%減りましたが、80%以上を維持しており、その中でも10回以上の多数来訪者が多くみられます。これらの来訪者は首都圏からの来訪が多く、台東区の観光資源の豊かさを好むリピーターの多さが伺えます。

表6 台東区への来訪回数

	平成26年			平成24年	
			前回との差		
初めて	18.8%		+2.0%	16.8%	
2～4回	81.2% (-2.0%)	22.9%	-1.9%	83.2%	24.8%
5～9回		14.0%	-0.3%		14.3%
10回以上		44.3%	+0.2%		44.1%

6. 来訪者の台東区印象

来訪者へのアンケートで台東区の印象を尋ねてみると、日本人・外国人とも、良かったこととして、「名所・旧跡、博物館・美術館」が最も多く、続いて「食事・買い物」、「公共交通機関」が上位を占め、台東区の特徴ある観光資源の豊富さや利便性が支持されていると考えられます。

一方、残念だったこととして、日本人・外国人とも、「人の多さ（混雑）」や「自転車のマナー」、日本人で「トイレ」、外国人で「Wi-Fi 環境」などが指摘されています。

■良かったこと（日本人・外国人） ※複数回答可

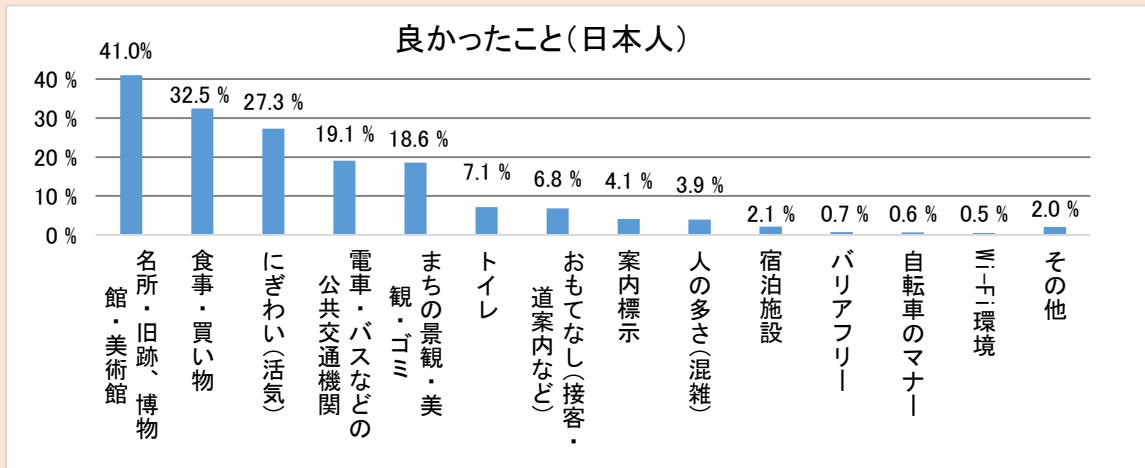


図4 良かったこと（日本人） 回答数 2,204

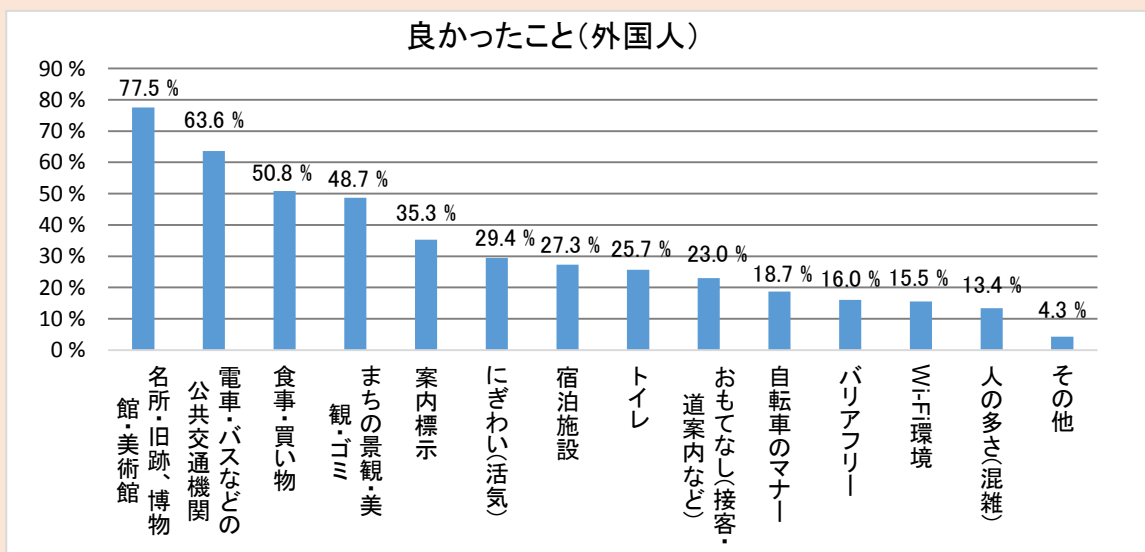


図5 良かったこと（外国人） 回答数 187

■残念だったこと（日本人・外国人）

※複数回答可

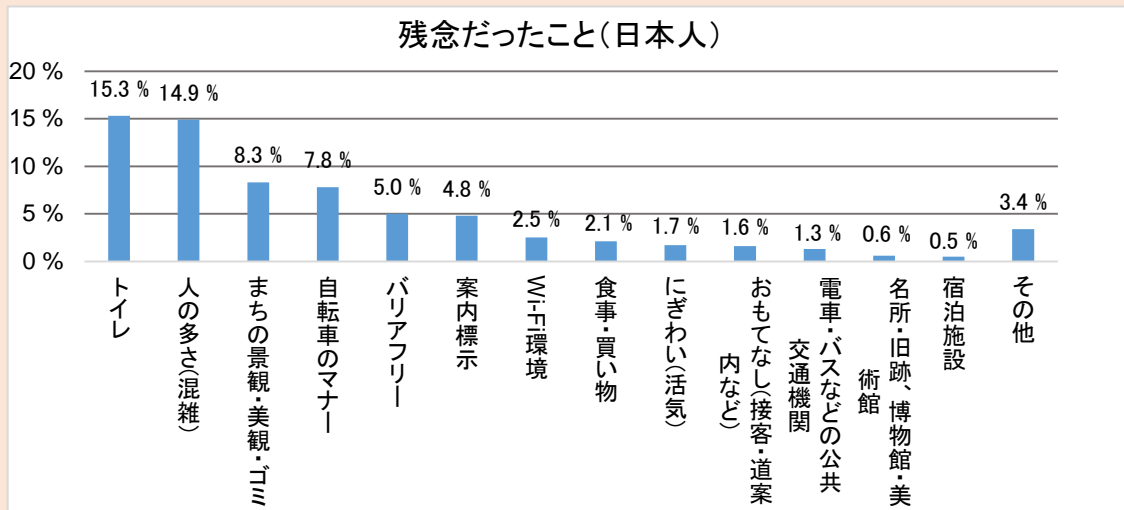


図6 残念だったこと（日本人）

回答数 2,204

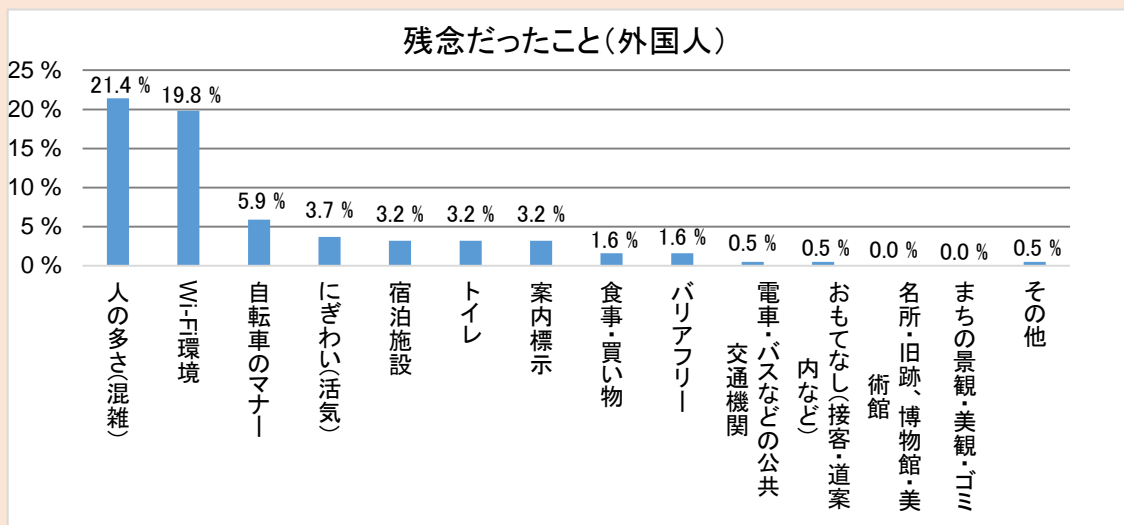


図7 残念だったこと（外国人）

回答数 187

台東区観光統計・マーケティング調査 概要版

平成 27 年 3 月発行

編集・発行 台東区文化産業観光部にぎわい計画課

〒110-8615 東京都台東区東上野4丁目5番6号

TEL 03-5246-1111

平成 26 年度 登録 第 93 号

